

B.1 モニタリング実績 ※1 ※2

モニタリング項目			モニタリング方法 ※3			計量器			備考
記号	定義	単位	概要	詳細	頻度	計量器の種類	精度	計量器の校正方法の説明	
$Area_{Forest,i}$	森林施業が実施された森林の面積 (0.9を乗じた値)	ha	実測 (コンパス測量)	間伐後レーザーコンパスで測量	初回検証申請時に1回	TRUPULSE360B	0.3~1.0m	測量日ごとに、測量前にキャリブレーションを行う	
$M_{Forest,i}$	適切な施業又は森林の保護 (森林の巡視等を含む) の実施状況	—	巡視記録	モニタリングエリアを巡視	検証申請時に1回	—	—	—	
$Area_{Forest,cu_{t,i}}$	主伐が実施された森林の面積	ha	実測 (コンパス測量)	主伐後レーザーコンパスで測量	主伐実施時に1回	TRUPULSE360B	0.3~1.0m	測量日ごとに、測量前にキャリブレーションを行う	
$\Delta Trank_{SC,i}$	(年間) 幹材積成長量	m ³ /ha	収穫予想表	(使用する収穫予想表の名称を記載すること) 徳島県「主要樹種林分簡易収穫表」 昭和52年3月 高知県「民有林収穫表」平成19年10月	検証申請時に1回	—	—	—	
$Trank_{SC,cut,i}$	幹材積量	m ³ /ha	収穫予想表	(使用する収穫予想表の名称を記載すること) 徳島県「主要樹種林分簡易収穫表」 昭和52年3月 高知県「民有林収穫表」平成19年10月	検証申請時に1回	—	—	—	
WD_i	容積密度	t/m ³	デフォルト値	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
BEF_i	拡大係数	—	デフォルト値	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
$R_{ratio,i}$	地下部率	—	デフォルト値	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
i	地位等による階層	—	実測	(地位特定のためのモニタリングプロットは、設定箇所を森林計画図・オルソ画像、空中写真等を用いて別添資料として示すこと) 同一樹種30ha以内に1か所プロットを設置	初回検証申請時に1回	(胸高直径の測定に使用する計量器を記載) 林尺	—	測量日ごとに、測量前に点検を行う	
						(樹高の測定に使用する計量器を記載) TRUPULSE360B		—	

※1 プロジェクト登録申請日以降モニタリング方法に変更がない場合は、プロジェクト計画書と同じ内容を記載する。

※2 面積、胸高直径、樹高の実測結果の野帳等は、検証機関や制度管理者から要求があった場合に提出できるよう準備しておくこと。

※3 モニタリングエリアごとに異なるモニタリング方法を適用する場合には、行を追加した上でモニタリングエリアごとに記載すること。

B.2 吸収量の算定結果

B.2.1 認証対象期間

認証対象期間	平成30年04月01日 ~ 平成31年03月31日
--------	---------------------------

- ※1 認証対象期間の開始日は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日とすること。
- ※2 認証対象期間の終了日は、認証対象期間の開始日から、同日より8年を経過する日若しくは2031年3月31日のいずれか早い日までの間で設定すること。
- ※3 認証対象期間の開始日が※1で定める日と異なる場合、又は認証対象期間の終了日が※2で定める日と異なる場合、どちらかに該当する場合は事務局までその旨を連絡すること。
- ☆ 黒潮町対象森林については平成28年12月1日～平成29年3月31日までとなる。

B.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{cut} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
C_{total}	当該年度の吸収量	tCO2
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 C_{BL} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 C_{cut} (tCO2)	当該年度の 吸収量 C_{total} (tCO2)
2013年度				
2014年度				
2015年度				
2016年度				
2017年度				
2018年度	0	1494.1	0	1494
2019年度				
2020年度				
2021年度				
2022年度				
2023年度				
2024年度				
2025年度				
2026年度				
2027年度				
2028年度				
2029年度				
2030年度				
合計	0	1494.1	0	1494

- ※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、B.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。
- ※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、B.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。
- ※3 当該年度のベースライン吸収量は、B.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

B.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)
2013年度					
2014年度					
2015年度					
2016年度					
2017年度					
2018年度	1189.697769	304.4227181	1494.120487	365	1494.1
2019年度					
2020年度					
2021年度					
2022年度					
2023年度					
2024年度					
2025年度					
2026年度					
2027年度					
2028年度					
2029年度					
2030年度					
合計					1494.1

※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、（別紙）吸収量算定シートに記載すること。

※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が2015年度、2019年度、2023年度、2027年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

B.2.4 プロジェクト実施後排出量

$$C_{cut} = C_{cut,AG} + C_{cut,BG}$$

記号	定義	単位
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{cut,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{cut,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の地上部バイオマス中の排出量 $C_{cut,AG}$ (tCO2)	当該年度の地下部バイオマス中の排出量 $C_{cut,BG}$ (tCO2)	当該年度のプロジェクト実施後排出量 C_{cut} (tCO2)
2013年度	0	0	0
2014年度	0	0	0
2015年度	0	0	0
2016年度	0	0	0
2017年度	0	0	0
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	0	0	0
2022年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2025年度	0	0	0
2026年度	0	0	0
2027年度	0	0	0
2028年度	0	0	0
2029年度	0	0	0
2030年度	0	0	0
合計	0	0	0

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、（別紙）排出量算定シート(FO-001)に記載すること。

B.2.5 ベースライン吸収量の考え方

(1) ベースライン吸収量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン吸収量は、1990年4月以降に森林施業（植栽、保育、間伐）を行った人工林の面積において、2013年4月以降適切な森林経営がなされなかった場合の吸収量とする。

(2) ベースライン吸収量の算定式

$$C_{BL} = 0$$

記号	定義	単位	想定値
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO ₂	0